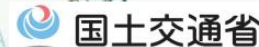


面瀬地区デマンド交通実証運行(宮城県気仙沼市)

まちづくり×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

気仙沼市(面瀬地区)デマンド交通実証運行実施協議会

【実施主体】気仙沼市

【共創パートナー】宮城県タクシー協会気仙沼支部(交通)

面瀬地区まちづくり協議会(まちづくり)

面瀬地区自治会長連絡協議会(まちづくり)

地域課題

- ・人口減少や少子化の影響で公共交通の利用者が減少し、行政負担額の増加が続いている。
- ・当地区は面的な広がりがあり、定時定路線形式ではその全てをカバーできないほか、狹隘で急勾配の道路も存在するなどの理由から、公共交通空白地域が多数存在している。
- ・従来の手法にこだわらない、新たな交通体系の導入が必要。

実証事業の内容

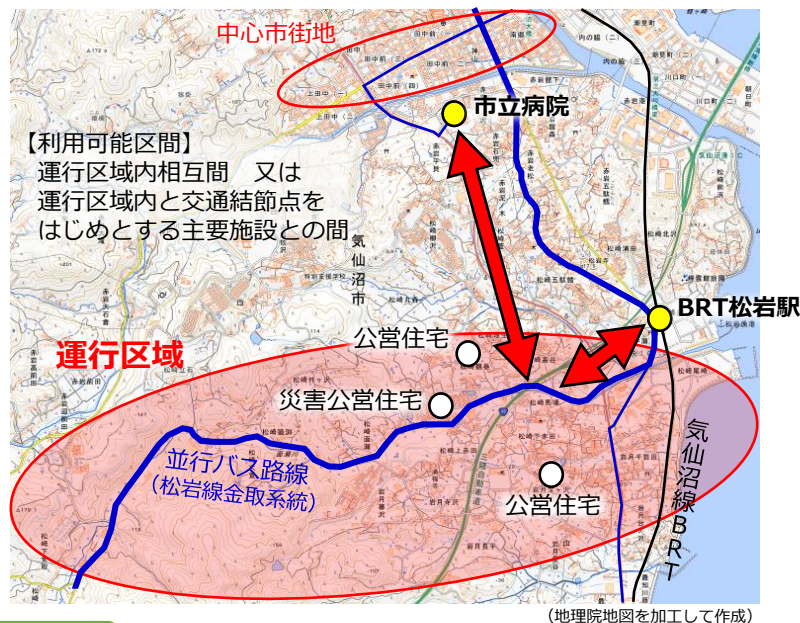
出発時刻固定・ミーティングポイント型デマンド交通の実証運行を実施する。住民組織と連携し、デマンドを活用した高齢者等の外出機会の創出(コミュニティづくり・健康づくり)に繋げる。なお、需要に限られた郊外部での運行となることから、予約や配車にシステムを使用せずコストを抑えた形態とし、横展開の容易さにも配慮した。

今後の展開

継続的な取り組みが可能と判断した場合は本格運行に向けた準備を進める。本格運行の際は、運行区域における並行バス路線を廃止し、同地区における公共交通運行の効率化を図る。また、補助事業によって培ったデマンド交通運行のノウハウを活用して、市内他地区に横展開を検討する。

事業実施区域

気仙沼市面瀬地区及び松岩地区金取区



事業体制

